

令和4年度

# 新宿区避難所防災訓練レポート

花園小学校避難所運営管理協議会（四谷地域）	1
津久戸小学校避難所運営管理協議会（笹笥町地域）	2
江戸川小学校避難所運営管理協議会（榎町地域）	3
早稲田大学戸山キャンパス避難所運営管理協議会（若松町地域）	4
天神小学校・新宿中学校避難所運営管理協議会（大久保地域）	5
戸塚第二小学校避難所運営管理協議会（戸塚地域）	6
落合第二小学校避難所運営管理協議会（落合第一地域）	7
落合第五小学校避難所運営管理協議会（落合第二地域）	8
柏木小学校避難所運営管理協議会（柏木地域）	9
西新宿小学校避難所運営管理協議会（角筈地域）	10

## 避難所防災訓練レポート

協議会名	<b>花園小学校避難所運営管理協議会</b>					
訓練日	令和 4年 10月 22日 (土)	8時35分 (発災) ~ 11時30分				
運営する町会・自治会等	新宿一丁目町会、新宿二丁目町会、花園町町会、新宿園町会、番衆町町会、ハイホーム本陣					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	98人	民間事業者	2人	児童・生徒	195人
	PTA	人	学校教職員	36人	防災関係機関等	31人
	その他	2人	区職員	16人	<b>合計</b>	<b>380人</b>
訓練概要	学校公開日に合わせて避難所防災訓練共同実施。全校児童参加。 発災 8:35、児童開会式 8:50、町会開会式 9:30 実施。 【訓練項目】①煙体験②D級ポンプ・スタンドパイプ放水訓練③起震車体験 ④応急救護訓練⑤自衛隊ブース展示⑥東京電力パワーグリッドブース展示⑦災害用トイレ組み立て訓練⑧ペット防災啓発展示⑨炊き出し⑩避難所開設訓練等					
特色・良かった点・成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校公開日に合わせ訓練を実施し、町会等の体験型訓練と時間を区切ることで全児童及び全園児が体験型訓練に参加した。</li> <li>今年度は自衛隊、四谷消防署、東京電力パワーグリッド、衛生課のブースを誘致し、訓練内容の充実を図った。</li> <li>3年ぶりかつコロナ禍後初めての訓練であったが、手指消毒等の基本的な感染症対策を施しつつ町会単位で移動する動線を管理する等の工夫により、例年並みの訓練を実施することができた。</li> </ul>					
課題・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>重い物資の運搬が必要な作業が訓練参加者の高齢化により難しくなっている。</li> <li>物資供給班の役員が炊き出し作業に追われ、ブースの体験ができていないため、訓練の際の体制を見直すべきである。</li> <li>体験ブースが多く、ひとつひとつの訓練が希薄になっている。</li> <li>町会単位での体験型訓練を実施したため、待機時間がまばらに発生してしまった。</li> <li>各部従事者が役割分担を十分に把握できていなかった。</li> </ul>					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後も同規模での訓練を継続して実施していきたい。</li> <li>新型コロナウイルスの感染状況を注視しつつ、児童及び園児の保護者の参加や町会参加者の増加を図っていきたい。</li> </ul>					

### ≪訓練の様子≫



煙体験

火災発生時の煙の脅威を体験すると同時に、煙から身を守るための訓練を実施した。



D級ポンプ訓練

小型消防ポンプであるD級ポンプの扱い方について説明を行った。



起震車訓練

大きな揺れを実際に体感することで、地震の脅威を知ることのできる訓練を実施した。



応急救護・救助訓練

怪我人が出た際の応急手当及び、人命救助の訓練を実施した。



パネル展示（自衛隊）

震災時救助の様子を撮影した写真パネルを展示し、防災意識の啓発を行った。



感震ブレイカー展示

東京電力パワーグリッド(株)より、感震ブレイカー等の震災時に役立つ機材の紹介・実演があった。



災害用トイレ組み立て

災害用トイレの組み立てを行い、設置場所や使用方法等についての説明を実施した。



ペット防災（衛生課）

ペットを飼っている方向けに、避難所での注意事項や日常生活での備えについての説明を行った。



児童の訓練参加

当日の訓練スケジュールを小学校・幼稚園・町会等に調整したことで、小学校及び幼稚園の訓練と町会の訓練を合同で実施することができた。

## 避難所防災訓練レポート

協議会名	<b>津久戸小学校避難所運営管理協議会</b>					
訓練日	令和 4年 11月 26日 (土)	10時00分～11時30分				
運営する町会・自治会等	神楽坂一丁目町会、神楽坂二丁目町会、神楽坂三丁目自治会、神楽坂四丁目公和会、神楽坂五丁目自治会、神楽坂五丁目三和会、神楽坂六丁目町会、飯田橋自治会、筑戸自治会、白銀町町会、新小川町自治会、赤城元町町会、市谷船河原町町会、アトラス江戸川アパートメント自治会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	13人	民間事業者	人	児童・生徒	人
	PTA	人	学校教職員	1人	防災関係機関等	1人
	その他	1人	区職員	8人	<b>合計</b>	<b>24人</b>
訓練概要	コロナ禍における避難所運営（受付部分）及び学校利用計画図の確認					
特色・良かった点・成果等	令和元年度以来の実施だったが、多くの町会・自治会が参加し、充実した意見交換を行うことができた。避難所運営管理ガイドライン（感染症対策編）を基に作成された感染症対策を含む学校利用計画図について、実際の現場を確認しながら受付シミュレーションをしたことで、課題となるポイントを多く発見できた。					
課題・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練前に作成した受付レイアウト案を基に当日受付シミュレーションをしたが、避難所の広さや災害時に集まれる運営側の人数を考慮すると、現状の案だと区分分けをすることが困難であることが判明したため、見直しが必要。</li> <li>・要援護者（車椅子の方等）が感染症区分BまたはCだった場合に上階への移動が困難であるため、対応方法の検討が必要。（エレベーターがないため、担いで移動するなどの対応をどのようにするか。）</li> <li>・町会・自治会で日ごろから避難場所や避難所の受付方法について周知していく必要がある。</li> </ul>					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付について多くの町会・自治会から同様の意見が寄せられたので、レイアウト変更の必要がある。次回の避難所運営管理協議会でその点について意見徴収をし、より実用性の高いものへ更新していきたい。</li> <li>・避難所の利用方法の周知については、地域によってはマンションが多いため周知が難しいという意見があった。現在タワーマンションとの連携を進めている中で防災に関しても働きかけを進めていくことが解決方法の一つとして考えられる。</li> </ul>					

### ≪訓練の様子≫



【受付レイアウト説明】

出張所が作成したレイアウト案を提示し、訓練内容について確認。



【受付物品確認①】

受付するにあたり、備蓄している物品を危機管理課から説明を受ける様子。（感染症対策物品について）



【受付物品確認②】

受付するにあたり、備蓄している物品を危機管理課から説明を受ける様子。（感染症対策物品について）



【受付シミュレーション①】

案をもとに実際に受付のシミュレーションを実施。（検温を実施し、チェックリストを基に区分分けをする様子）



【受付シミュレーション②】

実際の受付をしてみたの課題を参加者で検討。



【課題検討・共有】

シミュレーション後に左記の課題・改善点を参加者間で共有。

# 避難所防災訓練レポート

協議会名	<b>江戸川小学校避難所運営管理協議会</b>					
訓練日	令和 4年 10月 2日 (日)	10時 00分～ 11時 40分				
運営する町会・自治会等	赤城下町町会、築地町町会、水道町町会、改代町町会 東五軒町町会（筆筥町地域）、西五軒町町会（筆筥町地域）					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	14人	民間事業者	0人	児童・生徒	0人
	PTA	1人	学校教職員	2人	防災関係機関等	0人
	その他	1人	区職員	7人	<b>合計</b>	<b>25人</b>
訓練概要	<p><b>1 感染症対策ガイドラインの確認</b> 参加者全員で避難所運営管理ガイドライン（感染症対策編）の変更点を中心に内容の確認を行った。</p> <p><b>2 避難者受付時レイアウトの確認</b> 校庭に場所を移動し、危機管理課職員の説明を聞きながら、受付の流れ等の確認を行った。</p> <p><b>3 資機材の操作訓練</b> 炊き出し用新型バーナー・発電機の操作方法について、危機管理課職員の説明を受けた後、代表者数名が実際の操作を行った。</p> <p><b>4 学校利用計画図の確認と校内見学、備蓄物資等の確認</b> 校舎内を歩きながら学校利用計画図の確認を、そして備蓄倉庫では備蓄物資等の確認を行った。</p> <p><b>6 意見交換</b> 訓練終了後、参加者全員で活発な意見交換を行った。</p>					
特色・良かった点・成果等	<p>◆避難所運営管理ガイドライン（感染症対策編）の変更点を確認することができた。</p> <p>◆避難者受付時のレイアウトを再確認することができた。</p> <p>◆新型バーナーを実際に操作することで、その操作性を認識することができた。</p>					
課題・改善点等	今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、規模と内容を縮小して実施したが、今後は、一般参加者を含めた訓練が実施できる仕組みを検討していく必要がある。					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<p>（いただいた主なご意見）</p> <p>◆避難所運営者が一目でわかるような目印が欲しい。 ⇒備蓄倉庫内の開設キット付近にベストと腕章を配置する。※設置済み</p> <p>◆携帯電話充電用のマグネシウム電池については、家族の安否確認のために避難者が充電できるようにしてほしい。 ⇒避難所運営者側の使用を優先し、余裕があれば使用するの構わない。</p> <p>◆食糧等については、ローリングストックを常に心掛けていくような周知が大切である。</p>					

## ≪訓練の様子≫

		
感染症ガイドラインの確認 危機管理課職員から説明を受ける参加者	避難者受付時レイアウトの確認 危機管理課職員から説明を受ける参加者①	避難者受付時レイアウトの確認 危機管理課職員から説明を受ける参加者②
		
資機材の操作訓練 危機管理課職員から操作方法説明を受け、実際に操作する参加者①	資機材の操作訓練 危機管理課職員から操作方法説明を受け、実際に操作する参加者②	学校利用計画図の確認と校内見学 学校利用計画図を見ながら校舎内を確認する参加者①
		
学校利用計画図の確認と校内見学 学校利用計画図を見ながら校舎内を確認する参加者②	備蓄物資等の確認 備蓄倉庫で備蓄物資等を確認する参加者①	備蓄物資等の確認 備蓄倉庫で備蓄物資等を確認する参加者②

避難所防災訓練レポート

協議会名	早稲田大学戸山キャンパス避難所運営管理協議会			
訓練日	令和 4年 10月 16日 (日)	9時 00分～ 11時 00分		
運営する町会・自治会等	戸山一丁目町会			
参加者数	町会・自治会等 一般参加者 (区議含む)	34人	民間事業者 0人	児童・生徒 0人
	PTA	0人	学校教職員 4人	防災関係機関等 8人
	その他 (Zoom参加者)	7人	区職員 9人	<b>合計 62人</b>
訓練概要	早稲田大学戸山キャンパスにて、午前9時から訓練を実施した。 参加者の密集を避けるため、3班に分かれ、 ①講義(「災害への備え」及び「ペット防災」) ②AED訓練 ③アリーナ見学・初期消火訓練・備蓄倉庫見学 を順番に巡る形式とした。 訓練終了後、参加者へ記念品(町会から長期保存食品や非常用給水袋等、早稲田大学及び区危機管理課から長期保存菓子)を配付し、順次解散とした。			
特色・良かった点・成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>会場に来られない方にも少しでも訓練に参加してもらえるよう、①講義の様子を、Zoomを利用してオンライン配信し、自宅から視聴できる態勢を整えた結果、最大7名の視聴があった。</li> <li>新型コロナの感染拡大以降初めての会場開催の訓練において、受付や参加者記念品準備等を滞りなく行うことができ、町会(運営協議会)内の連携を再確認することができた。</li> </ul>			
課題・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>階段を使うルートを設定していたところ、階段で転倒し怪我をした参加者がいたため、今後は階段ではなくスロープやエレベーターを利用するルートを設定する。(早稲田大学と共有済)</li> <li>怪我人が発生した際、持参した救急箱をすぐに準備できなかった。現場近くに消防隊員がいたため、迅速に処置を行うことができたが、今後は、救急用品を携帯する職員を配置し、速やかに対応できるように備える。(救急バッグ購入済)</li> <li>新型コロナの感染が未だ収束していないため、参加者数が想定より少なかった。今後も感染対策を講じると共に、参加者に安心して来場してもらえるよう、感染対策を万全とする旨をより周知する必要がある。また、今年度行ったオンライン配信のように、直接参加できない方にも、会場外から地域の防災活動に参加できる方法を提示できれば、参加者を増やすことができると考えられる。</li> </ul>			
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の訓練で実施しなかった炊き出し訓練、仮設トイレ設置訓練等</li> <li>マニュアルの見直し(時点更新)</li> <li>今回行ったオンライン配信のような、会場に来られない方にも訓練に参加してもらえる方法の検討</li> </ul>			

《訓練の様子》

		
<p><b>開会挨拶</b></p> <p>代表世話人の開会挨拶。各班の番号が記されたうちわ(町会作成)を目印として、班ごとに整列した。</p>	<p><b>訓練① 講義「災害への備え」</b></p> <p>区危機管理課より、「災害への備え」について受講した。</p>	<p><b>訓練② 講義「ペット防災」</b></p> <p>区衛生課より、「ペット防災」について受講した。講話のあとには、受講者のペットケージ組立体験を行った。</p>
		
<p><b>訓練③ 講義「災害への備え」のオンライン配信</b></p> <p>講義「災害への備え」をオンライン配信した。 (写真は職員の携帯画面のスクリーンショット)</p>	<p><b>訓練④ 講義「ペット防災」のオンライン配信</b></p> <p>講義「ペット防災」(講話及びペットケージ組立体験)をオンライン配信した。 (写真は職員の携帯画面のスクリーンショット)</p>	<p><b>訓練⑤ AED訓練</b></p> <p>牛込消防団より、AED訓練を受講した。団員から説明を受けたあと、受講者のAED操作体験を行った。</p>
		
<p><b>訓練⑥ アリーナ見学</b></p> <p>災害時に住民の居住スペースとなるアリーナを、早稲田大学の職員からの説明を聞きながら見学した。 (写真は訓練と別日に撮影)</p>	<p><b>訓練⑦ 初期消火訓練</b></p> <p>牛込消防署早稲田出張所より、水消火器を用いた初期消火訓練を受講した。</p>	<p><b>訓練⑧ 備蓄倉庫見学</b></p> <p>早稲田大学構内にある備蓄倉庫の中を見学した。 (写真は訓練と別日に撮影)</p>

## 避難所防災訓練レポート

協議会名	<b>天神小・新宿中学校避難所運営管理協議会</b>					
訓練日	令和4年12月3日(土)	14時00分～ 16時00分				
運営する町会・自治会等	東一町会、新宿東二町会、新宿六丁目一新会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	7人	民間事業者	0人	児童・生徒	0人
	PTA	3人	学校教職員	3人	防災関係機関等	2人
	その他	3人	区職員	7人	<b>合計</b>	<b>25人</b>
訓練概要	<p>■協議会を運営する3町会の関係者及びPTA、防災サポーターが訓練に参加。</p> <p>■14時00分新宿中学校2階会議室に役員が集合。開所式後、各部に分かれて避難所立上げ手順の訓練を実施。</p> <p><b>【訓練項目】</b></p> <p>①避難所運営管理組織の立上げ(開設キット・感染症ガイドライン導入) ②防災倉庫の点検 ③受付訓練 ④受水槽訓練 ⑤仮設トイレ組立訓練 ⑥発電機操作訓練 ⑦バーナー訓練</p>					
特色・良かった点・成果等	<p>■避難所運営管理協議会役員による避難所立上げ訓練。</p> <p>■3年ぶりの訓練であり、今回は、「避難所開設キット」を用いた避難所運営訓練を特色とし、本部・庶務情報連絡部、避難誘導部、救護衛生部・物資供給部の3チームに分かれて訓練を実施した。</p> <p>■本部・庶務情報連絡部では、開設キットをもとに本部の立上げ方法を確認した後に、避難場所として想定される部屋に移動し、部屋ごとに施設点検する際のポイントを確認した。</p> <p>■避難誘導部では、受付訓練のための会場設営や実施方法の確認を行った。特に、開設キット・避難所マニュアル・感染症ガイドラインと3つを照らし合わせて現場で実施する際の注意点について確認を行った。受付訓練では避難誘導部が受付を行い、他部の参加者が避難者として受付を行った。時間がかかる作業であったが、実際にA区分の感染者が出たときの対応なども確認することができた。</p> <p>■救護衛生部・物資供給部では、感染者用の簡易トイレの設置場所や設営方法を確認したほか、受水槽への蛇口の接続方法の確認を行った。</p> <p>■校舎利用計画図を元に訓練を実施したことで、様々な意見が出たが、現在の計画では発災時にどういったかたちで校舎を使っていくのかを訓練参加者で確認・共有することができた。</p>					
課題・改善点等	<p>■本部・情報連絡部からは、各部の状況を確認するために、部ごとにトランシーバーなどの通信機器が必要ではないかという意見がでた。</p> <p>■学校が傾斜地にあるため、校舎内は階段が多く、移動も徒歩となるため高齢者が避難する際に補助が必要となるのではないかとといった意見もあった。</p>					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<p>■次年度からは通常の訓練に移行する予定であり、これまでのように小学生や中学生を交えた訓練になる。今回の訓練を踏まえて訓練内容を検討していきたい。</p>					

### ≪訓練の様子≫



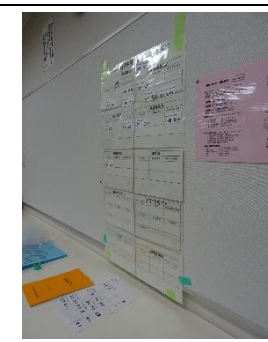
**【開所式】**

開所式では東二町会長及び大久保特別出張所長より、今年度の訓練趣旨について出席者に説明した。



**【防災倉庫の点検】**

3年ぶりに防災倉庫を確認し、備蓄物資や感染症対策物品の所在について確認した。



**【本部の立上げ訓練】**

避難所開設キットをもとに本部の立上げの手順について確認した。



**【受付訓練】**

参加者に避難者受付カード・健康状態チェックリストを記入してもらい避難者名簿の作成をした。感染症対策の手順をガイドラインを参考に確認した。



**【発電機・バーナー訓練】**

発電機とバーナーの操作手順を確認した。バーナーはワンタッチ式の機材に更新がされていることから操法の確認を実施した。



**【飲料水の確保】**

受水槽へ蛇口を接続し飲料水確保の手順を確認した。



**【仮設トイレ設置訓練】**

災害時用トイレの組み立てを実施、組み立て・片付けの手順を確認した。



**【講師からの講評】**

訓練を見学していただいた工学院大学の村上教授よりご講評いただいた。



**【閉所式】**

訓練についての振り返りを行った後、一新会会長よりご挨拶いただいた。

## 避難所防災訓練レポート

協議会名	<b>戸塚第二小学校避難所運営管理協議会</b>					
訓練日	令和 4年 12月 10日 (日)	9時30分 ~ 12時10分				
運営する町会・自治会等	高田馬場町会、諏訪町会、高田馬場清和会、高田馬場銀座商店街振興組合					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	48人	民間事業者	0人	児童・生徒	0人
	PTA	0人	学校教職員	8人	防災関係機関等	18人
	その他	4人	区職員	12人	合計	90人
訓練概要	<p>各班（町会ごと等）に分かれての訓練を実施。</p> <p>【体験訓練項目】</p> <p>①トイレの設営訓練（避難所開設キット）、②起震車体験、③ペット防災、④消火器訓練、⑤備蓄倉庫内の物資確認、⑥応急救護訓練（AED）、⑦映像資料および講話（「首都・大地震シミュレーション」／警察署）</p>					
特色・良かった点・成果等	<p>コロナ禍を経て、3年ぶりに実地訓練を行った。当日は、町会等一般参加に加え、学校教職員も参加しての訓練となった。</p> <p>消防署及び警察署の協力のもと、消火器の操作訓練や AED を用いた応急救護訓練といった実践的な訓練のほか、区防災センター起震車による地震の疑似体験型の内容も含め、災害時の行動や防災への関心の向上につながるような訓練を実施した。</p> <p>また、避難所開設の起点となる「避難所開設キット」の確認訓練のほかベンチャートイレの設営訓練も実施し、組み立て手順等の確認を行った。実地訓練を行えなかった期間に更新された一部資材についても、危機管理課によるレクチャーを通じて使用方法の確認も行った。</p>					
課題・改善点等	<p>避難所開設の起点となる「避難所開設キット」の確認は、参加者の一部に限られてのレクチャーとなったので、参加者全体へ向けてレクチャーする時間を設けるなどして、「避難所開設キット」について認識向上を図り、迅速な避難所開設に繋げる。</p>					
その他※今後取り組みたいこと・意見等	<p>実地訓練を前に開催した運営管理協議会において、委員から備蓄倉庫内の物資について、一部、使用期限到来のものがあり貴重なスペースを占有してしまい、避難所物資の持ち出し等の支障が懸念されるといった指摘があった。これを受け、危機管理課と学校の調整により、訓練開始までに整理された。</p> <p>今後も、実地訓練以外にもこうした運営管理協議会の場で、発災時に迅速な避難所開設ができるよう、物資や手順の確認によって備えられる機会とできるように取り組む必要がある。</p>					

### 「訓練の様子」



避難所開設キットの確認およびベンチャートイレの設営訓練

危機管理課指導のもと、備蓄倉庫から「避難所開設キット」を持ち出し後、ベンチャートイレ（大型）の組立手順確認及び組立訓練を行った。



映像資料視聴および講話

警察署による映像資料（「首都・大地震シミュレーション」）と講話で災害に強いまちづくりへの意識向上を図る。



消火器による初期消火訓練

消防署・消防団の指導のもと、水消火器を用いて発災時の初期消火訓練を実施した。



応急救護訓練

消防署・消防団の指導のもと、自動体外式除細動器（AED）を用いた応急救護訓練を実施した。



ペット防災

衛生課によるペット防災や動物救護についての説明、備蓄倉庫の動物救護資材（動物用ケージ等）の説明、紹介。



家具転倒防止器具、更新備蓄資材の紹介・レクチャー

発災時の家具転倒による被害防止に有効な器具の紹介説明のほか、備蓄物資で近年更新された避難所用資材（新型バーナー）の取り扱い方法について説明。

区防災センターによる起震車によって、地震発生時の状況を体験することで、避難所開設の主体となる地域住民の防災行動力の向上を図る。



地震の疑似体験訓練



起震車（区防災センター）↑

## 避難所防災訓練レポート

協議会名	<b>落合第二小学校避難所運営管理協議会</b>					
訓練日	令和4年7月24日(日)	8時15分～11時30分				
運営する町会・自治会等	上落合東部町会、上落合中央町会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	113人	民間事業者	0人	児童・生徒	0人
	PTA	10人	学校教職員	2人	防災関係機関等	20人
	その他	3人	区職員	16人	<b>合計</b>	<b>164人</b>
訓練概要	避難所開設キット説明、D級ポンプ訓練、バーナー実演、仮設トイレ組立、心肺蘇生法訓練(AED)、水消火器訓練、煙ハウス体験、起震車体験、備蓄倉庫見学、医療救護所見学(医療救護所では以前はトリアージ訓練等を実施していたが、今年度はコロナ禍の中での実施であったため、医療救護所の見学及び医療関係者による解説という形式で訓練を行った。)					
特色・良かった点・成果等	<p>落合第二小学校では3年ぶりの訓練実施であったが、防災意識が高く上落合東部町会の防災部長及び青壮年部長が避難所防災訓練を熟知していることもあり、円滑に進行できた。消防団も積極的に訓練に参加いただけた。</p> <p>個別の訓練については、D級ポンプ訓練は子どもたちに非常に喜ばれていた。落合第二小学校はプールが校庭にあり、D級ポンプ訓練を実施しやすい環境であるため、今後も実施したいと考えている。</p>					
課題・改善点等	<p>参加者から集めたアンケートでは、以下の課題が挙げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受付時の動線が分かりにくかった。</li> <li>受付カードの書き方が分かりにくかった。(受付に滞留する人が多くなった原因の一つ)</li> <li>起震車体験の震度を下げて、幼児に体験させてほしかった。</li> </ul>					
その他※今後取り組みたいこと・意見等	<p>今年度は炊き出し訓練を実施しなかったが、12月15日以降、未来創造財団がコロナ禍における利用前チェックリストを廃止するなど、区や指定管理施設の対応はコロナ前の状況に戻りつつある。そのため、来年度は落合第二小学校の特色の一つであったカレーの炊き出しを実施し、地域の方々に喜んでいただきたいと考えている。</p>					

### 《訓練の様子》



起震車体験

起震車に乗車し、大震災の揺れを体験



煙ハウス体験

煙ハウスに入り白い煙を見て煙の怖さを体験



備蓄倉庫見学

危機管理課職員が地域の方々へ備蓄倉庫の備蓄物資の内容を解説



AED操作

消防署員・消防団員による救急救命・応急救護の指導



仮設トイレ組立

危機管理課職員の指導により、大型の仮設トイレを組み立てる訓練



水消火器訓練

消防署が準備し消防団が指導する水消火器訓練(消火器の中身は水)



スタンドパイプの確認

マンホールにスタンドパイプを接続するスタンドパイプ訓練



D級ポンプ訓練

校庭のプールの水を利用したD級ポンプ訓練



炊き出し訓練

炊き出しは出来なかったが、炊き出しに必要な各種器具をPTA役員を中心に確認する訓練



## 避難所防災訓練レポート

≪訓練の様子≫

協議会名	<b>落合第五小学校避難所運営管理協議会</b>					
訓練日	令和 4年 10月 16日 (日)	9時00分 ~ 12時00分				
運営する町会・自治会等	上落合西町会、中井町会、上落合中央町会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	97人	民間事業者	0人	児童・生徒 町会・自治会 会に含む	
	PTA	町会・自治会 会に含む	学校教職員	5人	防災関係機関等	17人
	その他	0人	区職員	11人	<b>合 計</b>	<b>130人</b>
訓練概要	<p>9時00分 役員・訓練担当者集合 訓練内容の確認及び準備開始                  9時30分 参加者受付 手指消毒、受付カード記入、班旗前へ誘導                  9時50分 開会式・開会挨拶                  10時00分 訓練開始 5班に分かれ訓練を実施                  11時25分 新宿消防団第10分団による可搬ポンプ操法見学                  11時45分 閉会式・講評・閉会挨拶</p> <p>【訓練項目】</p> <p>①初期消火訓練（水消火器）                  ②仮設トイレ組立設置確認、スタンドパイプ見学                  ③ろ水器見学                  ④プライベートテント・家庭の備蓄品の確認                  ⑤備蓄倉庫、⑥受水槽見学</p>					
特色・良かった点・成果等	<p>■新型コロナウイルス感染症の影響により3年ぶりの実動訓練であったが、各町会が連携を密にすることで、訓練は全体的に円滑に進行していた。</p> <p>■新型コロナ対策として、受付時の手指消毒などの手順が加わったが、スムーズに受付することができた。</p> <p>■新宿消防団第10分団の可搬ポンプ操法を参加者全員で見学することで、一体感が生まれた。</p>					
課題・改善点等	<p>■全体の進行に影響はなかったものの、訓練項目によって所要時間が若干異なるため、一部で参加者が滞留することがあった。訓練内容や実施スペース、動線について検討する余地がある。</p>					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	<p>■新型コロナウイルス感染症の影響によりアルファ化米の炊き出しや応急救護といった訓練は実施を見送った。感染症の状況を注視しつつ、今後実施を検討する。</p> <p>■スタンドパイプについては、模擬消火栓に留まらず、学校東側道路上の消火栓を用いて、実際にスタンドパイプを接続、放水するといった訓練を実施したい。</p>					



避難所防災訓練レポート

訓練内容

協議会名	柏木小学校避難所運営管理協議会					
訓練日	令和4年 11月6日(日)	9時00分～ 12時00分				
運営する町会・自治会等	北新宿一丁目仲町会、北新宿蜀山町会、北新宿二丁目町会、北新宿二丁目新和会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	63人	民間事業者	0人	児童・生徒	0人
	PTA	1人	学校教職員	5人	防災関係機関等	9人
	その他	1人	区職員	9人	合計	88人
訓練概要	① 備蓄倉庫確認・避難所キット演習(役員のみ:9:00~10:00) ② 災害用トイレ組立訓練 ③ バーナー操作訓練 ④ 水消火器訓練 ⑤ 日赤柏木分団による応急救護訓練					
特色・良かった点・成果等	今回は3年ぶりの訓練でかつコロナ禍のため児童と合同ではできなかったが、学校からは、校長・副校長の他防災担当の教員3名、PTA会長が参加し情報を共有することができた。 コロナ前は、元気な児童が沢山いるので、地域の参加者の高齢化や限定的なメンバーであることが目立たなかったが、今回はそのような課題が浮き彫りとなった。児童と合同でなかったことにより課題が見える化し、町会長等や学校と課題について改めて認識を共有することができた。					
課題・改善点等	・訓練の担い手(町会等)や参加者の高齢化・固定化 ・避難所開設キットを使用した実践訓練をすることの重要性など					
その他 ※今後取り組みたいこと・意見等	・児童と合同でなかったことにより、訓練の担い手(町会等)・学校・地域本部(出張所)が、参加者の高齢化や固定化が見える化され、課題をより共有することができた。 ・学校側からは、「全児童を通し、各家庭に開催通知を配布することで、そのうちの1%の参加でも新しい担い手が地域の方々の活動を見て防災の取組に参加してくれるようになるのではないか。」との提案があった。 ・また、児童と合同でないことで、参加した地域本部(出張所)の若手職員や学校の防災担当教員は地域の方々の地道な活動を目の当たりにすることができ、地域コミュニティ醸成の大切さを体感することができた。					



水消火器訓練



バーナー訓練

日赤柏木分団応急救護訓練



災害用トイレ説明

## 避難所防災訓練レポート

協議会名	<b>西新宿小学校避難所運営管理協議会</b>					
訓練日	令和4年10月23日(日)	9時00分～11時45分				
運営する町会・自治会等	西新宿角三町会、西新宿四丁目町会、淀橋町会					
参加者数	町会・自治会等 一般参加者	20人	民間事業者 医療救護所含む	0人	児童・生徒	0人
	PTA	0人	学校教職員	0人	防災関係機関等 医療救護所含む	11人
	その他 医療救護所含む	11人	区職員 医療救護所含む	23人	<b>合計</b>	<b>65人</b>
訓練概要	<p>8時45分に学校施設管理協力員1名が西新宿小学校正門の鍵開け訓練を実施。参加者は、8時45分に西新宿小学校正門前に集合し、学校施設管理協力員が正門の鍵を開錠後、体育館へ移動。8時50分から開会式。その後、町会、民生・児童委員、消防団は、班ごとに各訓練場所を巡回し、訓練を実施。医療救護班スタッフ（東新宿保健センター・衛生課職員、医師会、歯科医師会、薬剤師会）は、体育館にて医療救護所訓練を実施。町会、民生・児童委員、消防団は、各訓練場所での訓練終了後、体育館にてプライベートテントの設営、新宿区との連携確認。11時00分から閉会式。</p> <p><b>【訓練項目】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 受水槽給水訓練・ろ水器操作訓練</li> <li>2. 防災無線訓練</li> <li>3. 防災倉庫内部確認</li> </ol>					
特色・良かった点・成果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■3箇所での訓練をグループごとに実施したが、各訓練場所へスムーズに移動できたため、タイムテーブルどおりに訓練を実施することができた。事前に校内を見学させていただいたことが良かった。</li> <li>■班別に巡回して訓練項目を体験・見学したため、全員がすべての訓練を体験・見学することができた。</li> </ul>					
課題・改善点等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■避難所は、地域住民が中心となって運営することを理解していただく必要がある。</li> <li>■訓練を形骸化させないように、毎年内容を見直し、より実態に則した訓練となるよう工夫する必要がある。</li> </ul>					
その他※今後取り組みたいこと・意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実際に災害が起きた時に、地域の人々の力により、避難所を開設・運営できるような訓練内容になるよう、検討する。</li> <li>■実際に避難所を開設し運営するときには、地域住民の協力が不可欠である。より多くの地域住民に訓練の参加を呼びかけていくことが必要と感じた。</li> </ul>					

### 《訓練の様子》



【開会式】

学校施設管理協力員1名が小学校正門の鍵を開錠後、午前8時50分頃、参加者が体育館に集合し、開会式が行われました。



【受水槽給水訓練】

受水槽の位置を確認し、危機管理課職員より給水用蛇口についての説明を受け、実際に取り付けを行いました。



【ろ水器操作訓練】

危機管理課職員より、ろ水器の操作説明を受けました。



【防災無線訓練】

発災時を想定し、防災無線で小学校から特別出張所へ避難所開設の報告、避難者数・周辺地域の被害状況・緊急に必要な物資等の連絡を行った。



【防災備蓄倉庫内部確認訓練】

防災備蓄倉庫内の保管してある備蓄物品の保管場所を確認しました。危機管理課職員より防災物品の使用方法等の説明を受けました。



【プライベートテント設営訓練】

角筈特別出張所長よりプライベートテント設営方法の説明を受けた後、各班で設営を行いました。



【開設時の区との連携に関する講義】

角筈特別出張所長より地域本部の体制と避難所との関係について、地域本部の活動内容、活動人員の説明を受けました。



【医療救護所開設・運営訓練】

体育館にて医療救護班スタッフ（東新宿保健センター・衛生課職員、医師会、歯科医師会、薬剤師会）は、医療救護所開設・運営訓練を実施しました。



【閉会式】

11時00分より閉会式を行いました。